

特許電子図書館（IPDL）の利用に関するアンケート調査の概要について

平成 26 年 2 月
独立行政法人工業所有権情報・研修館

1. はじめに

平素より特許電子図書館（IPDL）の利用につきまして、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

（独）工業所有権情報・研修館では、利用者の皆様からお寄せいただいたご要望、ご意見等を把握するために、アンケート調査を実施しております。今回は平成 25 年 1 月～12 月の間に寄せられた 284 件の回答について、主な事項を取りまとめましたのでご報告します。

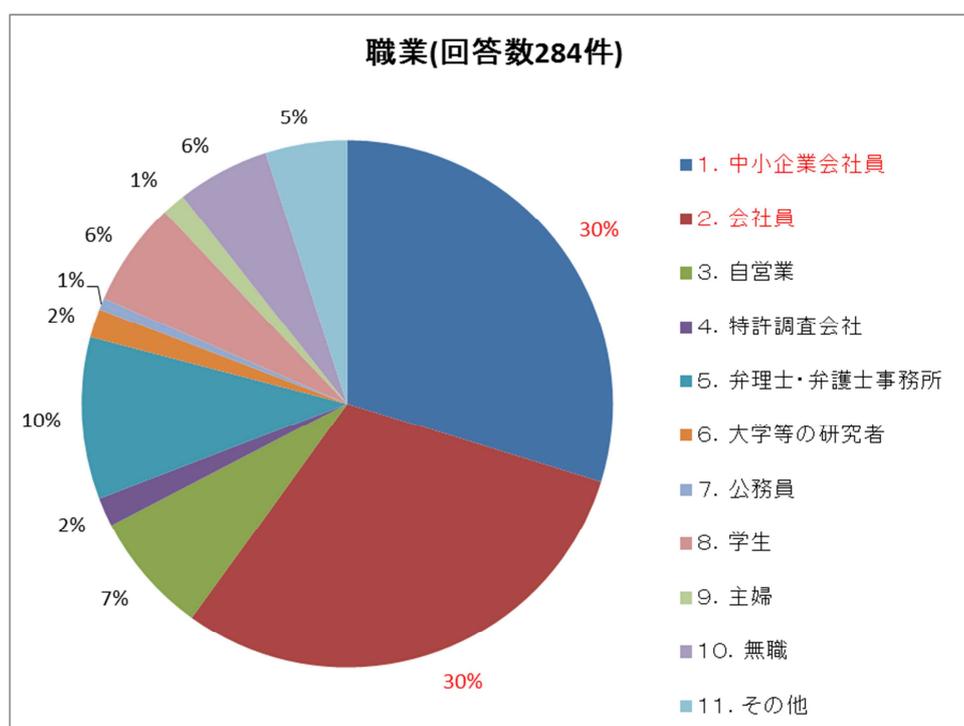
なお、本アンケート調査票は IPDL トップページに掲載しております。引き続きご協力いただけますと幸いです。

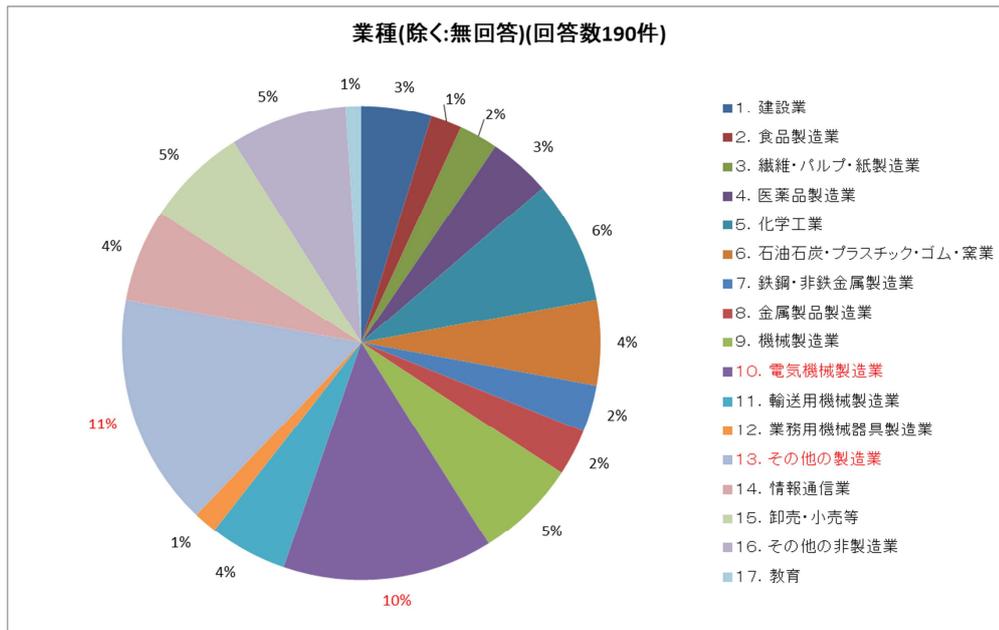
2. アンケート結果

(1). 年齢及び職業

IPDL 利用者を年齢別で見ると、30 代、40 代、50 代及び 60 代がそれぞれ約 20% で全体の約 80% を占めております。

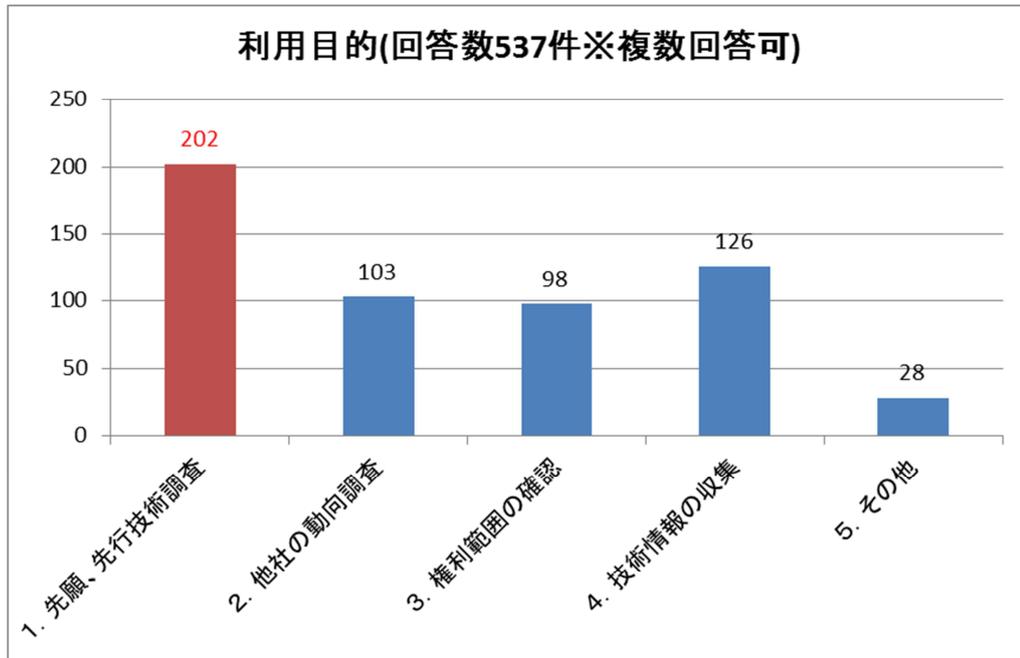
職業別では、「中小企業会社員」及び「会社員」がいずれも 30%、次いで「弁理士・弁護士事務所」が 10% となっております。また、業種別では 10% 以上が「電気機械製造業」及び「その他の製造業」、5% 以上が「化学工業」、「機械製造業」、「卸売・小売等」及び「その他の非製造業」でした。





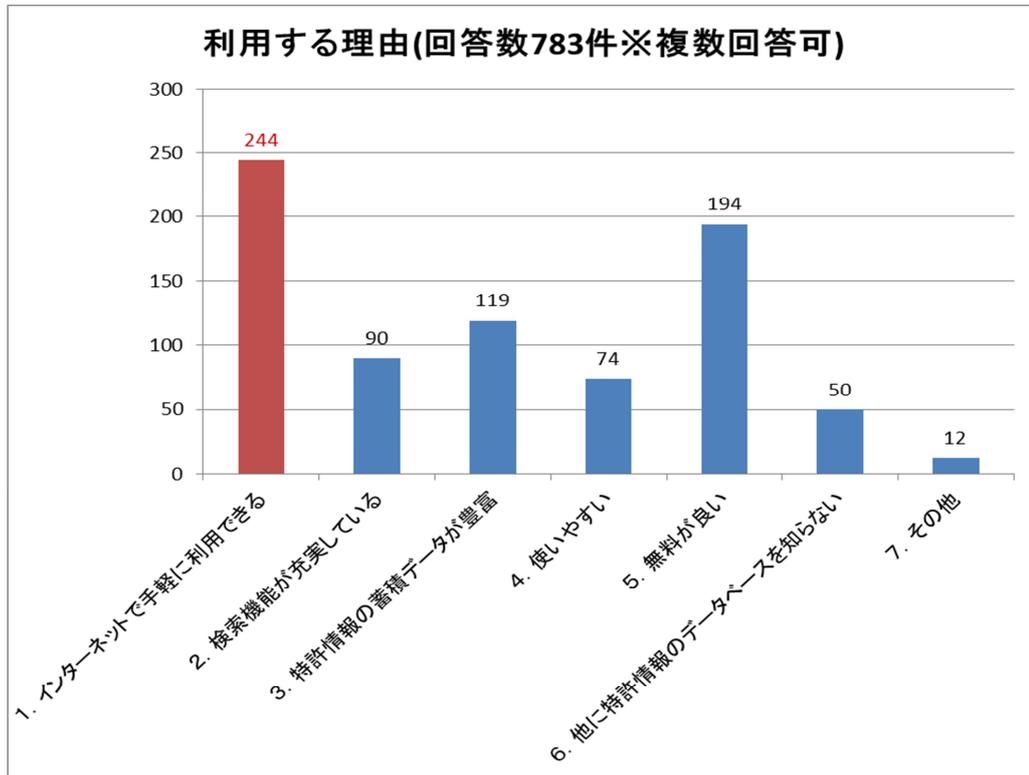
(2). 利用目的

利用目的では、「先願、先行技術調査」が 202 回答と最も多く、126 回答の「技術情報の収集」、103 回答の「他社の動向調査」、98 回答の「権利範囲の確認」と続きます。



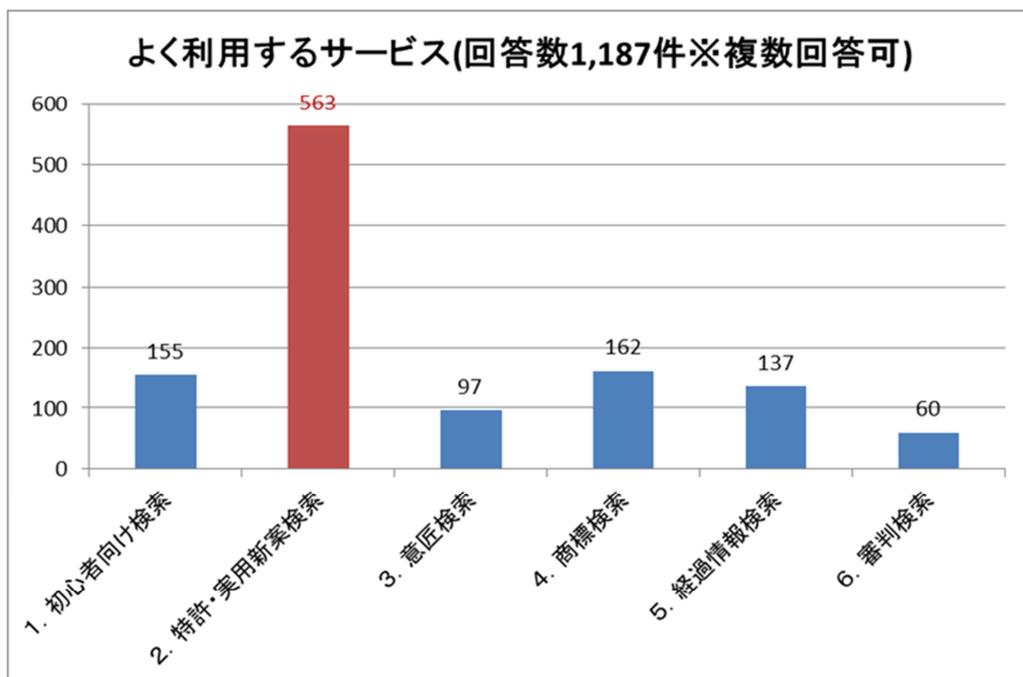
(3). IPDL を利用する理由

IPDL を利用する理由としては、昨年同様「インターネットで手軽に利用できる」が 244 件と一番多くの回答が寄せられております。



(4). よく利用するサービス

よく利用するサービスでは、昨年同様「特許・実用新案検索」が 563 回答と最も多く、以降が「商標」162 件、「初心者向け検索」が 155 件、「経過情報検索」が 137 件と続きます。

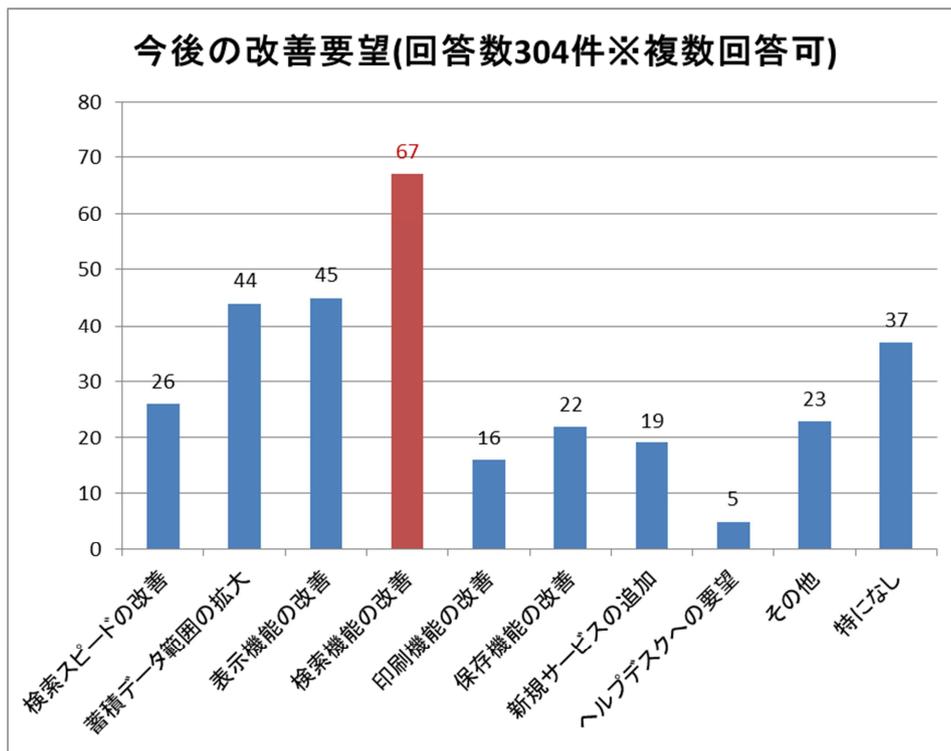


(5). 今後の改善要望

今後の改善要望については、「検索機能の改善」が 67 件と昨年に続き最も多く、それ以降が「表示機能の改善」、「蓄積データ範囲の拡大」の順となっております。

(以下、要望の一部抜粋)

- ① 検索機能の改善
 - 公報テキスト検索における F タームによる検索
 - あいまい検索
- ② 表示機能の改善
 - 表示件数の上限の拡大
- ③ 蓄積データ範囲の拡大
 - 紙公報発行時代の公報をテキスト検索する機能
 - 審査書類情報照会の対象書類拡大
- ④ その他
 - 特許電子図書館サービス利用マニュアルの内容の充実
 - 画面遷移の利便性向上



以上